

県民参加型アサガオ調査の経過

- 経験すると誰もが驚く。翌年もやりたいという人が多い。
- 体験から、ほとんどの人が、何故、緑の多い県北部や西部で被害が多いとの疑問を持つ。
- 大気汚染の仕組みが、説明で浸透しやすい。
 - 10地点調査から30地点、100地点調査へ
 - 「身近な監察局」
昨年は約20人。今年は彼らが呼びかけ50人近くに
 - 生きがい大学 14人(OTC調査も)
 - 地域の環境団体
 - 学校の先生
 - 大学生グループが参加 20人
 - いずれも調査票の回収率は100%に近い。